

特 集

中海・宍道湖の底生生物群集と水環境

Laguna (汽水域研究) 第 26 巻の特集号「中海・宍道湖の浮遊物質、堆積物と環境変化」に引き続く、中海・宍道湖の特集号になります。本号は、底生生物群集と水環境を中心とした特集になっており、6 編の論文から構成されています。

現生底生生物群集の現況とその変化や変遷は、現在の中海・宍道湖の環境を評価する上で、また将来に向けたより良い環境を構築するためにも、最も基礎的な資料となります。本特集では、オゴノリ、底生有孔虫、マクロベントスを対象にこれらの分布を扱うとともに、音響計測手法や環境 DNA を用いた新しい調査手法による結果が示されています。また底生生物群集と密接な関係のある水環境についても、長期間の観測データの解析と 2018 年夏の結果、また堆積物に記録された過去 600 年間の変遷が報告されています。特集号に投稿頂いた著者の皆様、また査読にご協力頂いた方々、英文校閲にご協力頂いたアリゾナ大学の David Dettman 博士（島根大学エスチュアリー研究センター客員研究員）に御礼申し上げます。

特集号編集委員会

編集委員長

齋藤文紀（島根大学エスチュアリー研究センター）

編集委員

三瓶良和（島根大学総合理工学部）

山口啓子（島根大学生物資源科学部）

瀬戸浩二（島根大学エスチュアリー研究センター）

倉田健悟（島根大学生物資源科学部）

香月興太（島根大学エスチュアリー研究センター）

目次

- Laguna 27:19-20
巻頭言

- Laguna 27:21-31
1) 音響計測手法を用いた中海大根島周辺におけるオゴノリ類群落の分布と季節変化
南 憲吏・倉田健悟・安永志織・金 相嘩

- Laguna 27:33-40
2) 長期間の連続観測データからみた地中海の下層における溶存酸素濃度の変動特性
金 相嘩・濱田孝治・南 憲吏・清家 泰

- Laguna 27:41-57
3) 中海 Nk-3C 地点における湖底表層堆積物層序および過去約 600 年間の地球化学的環境の変化
廣瀬孝太郎・瀬戸浩二・辻本 彰・中村英人・安藤卓人・入月俊明・香村一夫

- Laguna 27:59-68
4) 地中海における 2016 年の底生有孔虫群集の分布
辻本 彰・瀬戸浩二

- Laguna 27:69-86, Supplemental material 1, Supplemental material 2
5) [資料] 2018 年夏季の穴道湖のマクロベントスと水質・底質環境総合調査結果
中村幹雄・森久拓也・杉山ゆかり・尾島徹哉・森山今日子・園田 武・松田烈至

- Laguna 27:87-100
6) 環境 DNA を用いた穴道湖・中海におけるモクズガニ (*Eriocheir japonica*) の季節的な分布の推定
立石 新・辻 冨月・山中裕樹・乾 隆帝・赤松良久・高原輝彦